

前期重点計画の実績・成果	後期重点計画に向けた課題
<p>① 羽田空港の国際化に対応する仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際化キャンペーンイベント(羽田グローバルエキスポ等)の開催 来~る大田区大使による多角的な情報発信の推進 安心して楽しめる受入体制(ソフト面及びハード面)の整備(多言語パンフレット、観光案内サイン、羽田空港内観光情報コーナー、ウェルカムショップ制度等) 外国語ガイドの養成、海外メディア等と連携したモニターツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 海外への広い情報発信に繋がる、近隣自治体・民間事業者と連携したプロモーション 羽田空港のある自治体としてのMICEの積極的な推進 来訪者へより一層のおもてなしを提供する受入環境の整備(既存制度の充実) 羽田空港国際線発着枠の拡大等、東京への来訪者増加に備え、空港近接の立地特性を活かしたうえ、区の魅力の向上と情報発信のさらなる推進
<p>② 大森と蒲田を拠点とした都市観光への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 大森・蒲田の商店街や飲食店、銭湯・黒湯等の地域情報の収集・整理、関係機関と連携したPR事業の実施 NHKの連続テレビ小説「梅ちゃん先生」を契機に地域や関係機関と連携したまちおこしの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 大森・蒲田を中心拠点としつつ、広範囲に広がる観光資源、地域ごとの多種多様な魅力の掘り起し等、区内全域を視野に入れる取り組み 来訪者の再来訪率を高める、来訪の契機となる地域ブランドの創出とさらなる情報発信
<p>③ 水と緑のまち大田区を楽しむ仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光情報誌・既存イベントでの水辺・豊かな緑の紹介 隣接する自治体と連携したカヌー・屋形船等(舟運実験)を用いた体験型の新たな魅力の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 水・緑(観光資源)の区内外への発信、体験ができる継続的な仕組みづくりを目指した、観光まちづくり団体・事業者との連携とさらなる情報発信
<p>④ 世界に誇る「おおたのモノづくり」をみせる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 大田の工匠・優工場等、視察等受入企業への一般来訪者受入に関わる意向調査の実施(課題等抽出含む) 旅行会社による観光資源・グルメ・産業現場の見学・体験ができるツアー造成を目指した産業観光モニターツアーの実施 企業の受入促進を目的とした助成制度の設立 大田観光協会と3大学(首都大学東京、横浜国立大学、東京大学)の連携による、おおたオープンファクトリーの継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 視察等受入先企業の負担・役割・メリット等の明確化 継続的な仕組みを見据えた旅行事業者との密な連携
<p>⑤ 観光振興を推進する体制・環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光振興を継続的にかつ効果的に推進する、観光関係民間事業者、関係機関等との連携・情報共有の強化を目的とした、観光推進連絡協議会の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な目的で来訪する来訪者全般を対象に、都市生活そのものを体感する観光振興を進めるための、関係機関との連携(情報共有のみならず、パートナーとしての深い連携) 地域の観光に対する機運を高める、幅広い連携(NPO・ボランティア・個人等) 広域的視点に立つ、近隣自治体を中心とした面での誘致・誘客